



GUNBOH

# 群 萌

第165号 2006年1月13日

発行所 全国化学労働組合総連合

〒113-0033 東京都文京区本郷1-28-10

本郷TKビル4F

TEL 03 (3868) 9663

FAX 03 (3868) 9664

発行責任者 福永 幸治

編集者 望月新太郎

gs03@kagaku-s.jtuc-rengo.jp

## 化学産業の持続的な成長と 雇用の安定的な確保を求めた活動

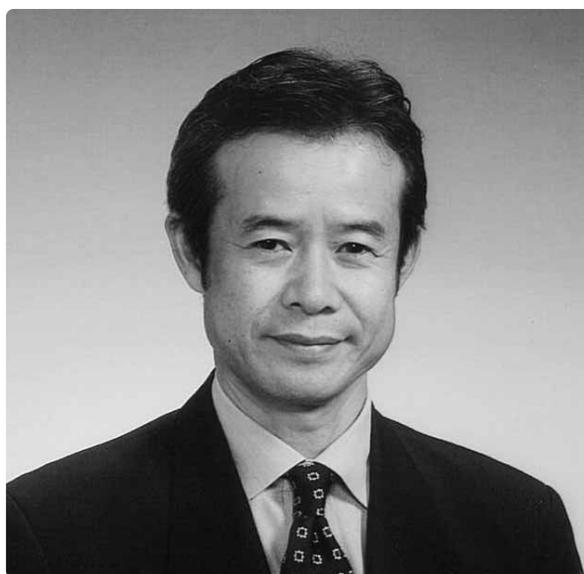
化学総連会長 福永 幸治

あけましておめでとうございます。昨年は、前年12月26日に発生したインドネシアスマトラ沖大地震と大津波によって、自然災害の脅威にさらされました。化学総連では、パキスタン北東部での大地震とあわせて、連合・ICEM-JAF（日本化学エネルギー鉱山労協協議会）を通じて、被災者への救援カンパを実施しました。加盟組合員の皆様の暖かいご支援に心よりお礼申し上げます。国内を振り返れば、相次ぐ児童殺害をはじめとする殺伐とした事件が相次ぎました。1年の世相を表す漢字が「愛」に決定されましたが、スポーツ界での女性の活躍や愛・地球博といった華やかな面よりも、国民自身が「愛」の必要性を求めたのではないのでしょうか。

国内景気は、改善の兆しははっきりとしてきました。内閣府が調査した街角景気の判断指数によると、現状・先行きともに「良い」という結果が出ており、株価効果・選択的消費（こだわり消費）・法人関連消費の3つの現象が刺激しているようです。政府は、このような景況を受け、定率減税の縮小等を強行しようとしています。実行されれば、今年度の家計負担は全体で3兆円程度増との試算もあり、とりわけ定率減税については、所得税額の20%、住民税額の15%が廃止されると、検討されている控除見直しと合わせて年収500万円のサラリーマン世帯で約20万円の増税になります。家計を直撃するばかりか、個人消費の落ち込みによって、景気に悪影響を与えるのは明らかです。連合が主張する「サラリーマン増税断固反対」を我々としても支持し、政府の慎重な対応を求めています。

本年の化学総連は、定期大会で決定した5つの活動（①化学エネルギー関連産別との一層の連携強化、②産業業種活動の推進、③財政の健全化、④調査活動・教育活動の充実、⑤企業内グループ労組との連携強化）を確実に進めていきます。なかでも、産業対策活動は最重要課題です。欧州で導入が検討されている、REACH（新化学品規制）に関しては、国内化学系労組と共同ポジションペーパーを作成し、EU圏内労組で影響力のあるIGBCE（ドイツ化学関連労組）と政策会議をスタートさせ、一定の成果をあげることができました。近年、化学工業に関する環境課題や法制化は、内外を問わず様々な局面で事業運営に影響を与えています。化学総連としては、スピードと柔軟性の両面を備えた「化学産業政策フォーラム」を設置し、産業別組織を超えた実効ある活動により、国内化学産業の持続的な成長と雇用の安定的な確保を求めた活動を推進していきます。

新年は、心新たに躍動感を駆り立てます。「愛」あふれる世の中になることを願い、更には、化学総連に集う多くの組合員及び御家族の皆様のご健康とご多幸をお祈りし、新年の挨拶とします。



# 2006年1月リニューアル

一般向け&会員専用ホームページのその全貌がついに公開される!

2006年1月にホームページが、再構築の全貌を公開します。再構築に向けて、そのコンセプトを2年越しで検討し、具体化してきました。その作業が完了し、いよいよ日の目を迎えることとなりました。従来は内製化していたため、情報の更新に工数がかかれず、リアルタイムな提供ができませんでした。再構築に際しては、外注化を視野に入れ、ホームページに関わるメンテナンス工数の削減と作業の効率化を図り、タイムリーな情報の提供が行える体制作りに取り組みました。

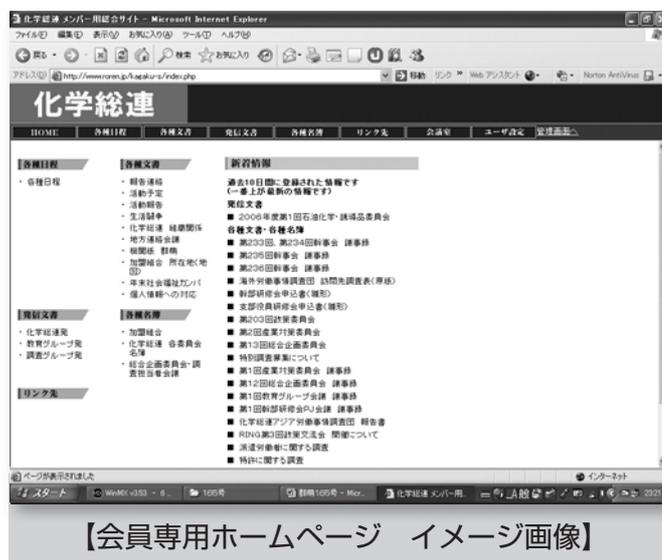
一般向けは、組合員さんや一般の方々に向けたプレゼンテーションを重視し、ビジュアル的にも工夫をいたしました。化学総連の活動を広く知っていただくためのITツールとして、活用していきます。

URLは  
<http://www.kagaku-s.com/> です。



【一般向けホームページ イメージ画像】

会員専用は、機能を重視しており、内部及び外部活動の情報共有化や様々な活動の拠点機能として充実を図ってまいります。



【会員専用ホームページ イメージ画像】

これを機会に  
『化学総連 ホームページ』に是非アクセスしてください。